

# 長野ろうきん

## 「はたらく仲間と取組むSDGs」 報告レポート



長野ろうきんは、福祉金融機関としての役割を発揮しつつ、SDGs実現に向けた事業運営に努めております。本レポートにおきましては、代表的な取組み内容をご紹介します。

### 重点的に取組む目標項目及び公表項目

長野ろうきんでは、中期経営計画第II期(2022年度-2024年度)のテーマに掲げる“はたらく仲間の未来の安心をともに創る”の実現に向け、SDGs目標項目の中から「貧困をなくそう」「質の高い教育をみんなに」「働きがいも経済成長も」「パートナーシップで目標を達成しよう」の4項目を、重点的に取組むSDGs目標項目に位置付けております。重点目標の4項目のうち、2項目4取組みに関しては、3か年のKPI(重要業績評価指標)を定めた取組みを実施してまいります。

### 1 貧困をなくそう

#### ① 高金利ローンからの借換え(3か年KPI設定項目)

3か年KPI:借換件数1,000件/2022年度上期:386件

#### ② 各種セミナー・学習会実施状況(3か年KPI設定項目)

3か年KPI:開催回数800件・参加人数15,000人/2022年度上期:開催回数52件・参加人数923人

#### ③ ライフプランシミュレーションによる個別面談(3か年KPI設定項目)

3か年KPI:実施回数7,000回/2022年度上期:実施回数1,189回

#### 具体的取組み

##### カリカエ大作戦の実施

長野ろうきんでは、会員労働組合の皆さまと協働し、はたらく仲間一人おひとりの可処分所得(使えるお金)を増やすための提案を行い、積極的な行動につなげていくことを目的とした「長野ろうきん『カリカエ大作戦』」を実践しております。

(2022.6/1~2023.1/31)



#### ④ こども基金の取組み

長野ろうきんの各種ローンをご利用いただくことで、新規ご融資取引1件につき100円を長野ろうきんが拠出し、その総額を「長野県みらい基金」を通じて長野県内の子育て世帯の支援に取組む団体へ寄付しております。2021年度の取組みによる寄付額及び取組み開始以降の累計は以下の通りです。

2021年度寄付額	寄付総額(累計)
626,800円	4,236,360円

#### ⑤ ピンクリボン運動(ろうきんchou-chouハートフルプロジェクト)

長野県で暮らす女性がいつまでも健康でいられるように、“ろうきんchou-chou”シリーズの商品のご利用状況に応じて、公益財団法人日本対がん協会「ほほえみ基金」に寄付しております。2021年度のご利用状況による寄付額及び取組み開始以降の累計は以下の通りです。

2021年度寄付額	寄付総額(累計)
742,910円	12,521,856円



### 4 質の高い教育をみんなに

#### ① 学生・キッズ向けセミナーの実施(3か年KPI設定項目)

長野ろうきんでは、学生向けのマネーセミナーを毎年実施しております。学生のうちから、お金に関する知識を得ることは、若い時から資産形成に努める行動が期待できるとともに、マネートラブル(詐欺・多重債務等)から身を守ることもつながるものと考えております。

3か年KPI:開催回数40回・参加人数3,000人/2022年度上期:開催回数2回・参加人数44人

#### ② ろうきん奨学会

ろうきん奨学会は、1967年に長野県労働金庫創立15周年の記念事業として設立され、会員の子弟に奨学金を無利子でご利用いただいております。毎年多くの応募者があり会員・勤労者の方々の教育にかかる負担軽減につなげるための取組みとしていいます。2022年度及び取組み開始以降の累計は以下の通りです。

2022年度 新規貸付件数		奨学金総額(累計)	
件数		件数	貸付総額
132件		5,711件	5,399,880千円

### 8 働きがいも経済成長も

#### ① 健康経営

長野ろうきんは2022年3月、経済産業省と日本健康会議が共同で選定する「健康経営優良法人2022(大規模法人部門)」の選定、及び優良な上位500法人に与えられる「ホワイト500」に認定されました。引き続き、職員が健康的にはたらくことのできる職場環境をつくり、職員の健康保持・増進に向けた取組みを行ってまいります。



#### ② ディーセントワーク・女性活躍推進の取組み

長野ろうきんは、2016年6月の「プラチナくるみん」<sup>\*1</sup>の取得に続き、2021年12月には「えるばし認定」<sup>\*2</sup>を取得しました。引き続き、職員一人ひとりが働きやすい職場とするため、女性活躍推進や男性が育児休業を取得しやすい環境づくりをはじめとした、さまざまな取組みを行ってまいります。

<sup>\*1</sup> 「次世代育成支援対策推進法」に基づき、一定の高い水準の子育て支援を積極的に行っている企業が、「子育てサポート企業」として厚生労働大臣から認定を受けた証です。

<sup>\*2</sup> 「女性活躍推進法」に基づき、女性の活躍推進に関する取組み状況が優良である等の一定の要件を満たした企業が、「女性の活躍を推進している企業」として厚生労働大臣から認定を受けた証です。



### 17 パートナーシップで目標を達成しよう

#### ① 運営委員会自主活動、地域・社会活動の取組み状況

長野ろうきんの各営業店では、地域の皆さまとの交流を大切に、運営委員会を中心とした企画・運営による地域に根ざした活動を行っております。

#### ② NPOボランティア団体助成金の状況

長野ろうきんでは、「長野県みらい基金」を通じ、地域で様々な活動に取組まれているNPOやボランティア団体等の支援を行っております。2021年度は9団体に1,600,000円を助成しました。これまでの寄付総額は52,492,119円となっております。

#### TOPIC

創立70周年記念企画【信州のはたらくみんなへの感謝のメッセージ】

#### 「第51回信毎広告賞審査員特別賞(デザイン賞)」受賞

この広告は、創立70周年を記念した取組みとして、多くの会員労働組合の皆さまから「信州のはたらく人」に対する感謝のメッセージ及び写真を提供いただき、モザイクアートとして2021年11月23日の「勤労感謝の日」にあわせて信濃毎日新聞紙面に掲載したものととなります。これからも、はたらくの方々のお役に立つことを第一義として、様々な取組みを継続してまいります。



受賞式の様子

# はたらく人の **想** いと生きる

## ろうきんの基本姿勢

ろうきんは

はたらく仲間がつくった  
金融機関です。

ろうきんは

営利を目的としない  
金融機関です。

ろうきんは

はたらく人目線で考える  
金融機関です。

(2022年9月末)

名称	長野県労働金庫 登録金融機関 関東財務局長(登金)268号
本店住所	長野県長野市県町523
電話番号	(026)237-3700
ホームページ	https://www.nagano-rokin.co.jp/
創立	1951年(昭和26年)12月
代表者	理事長 小池 政和

店舗数	20店舗(インターネット長野支店含む) 3出張所・9ローンセンター
常勤従業員数	395人
団体会員数	1,640会員
間接構成員数	291,299人
出資金	2,434百万円

## 2022年度中間期における財務状況のご報告

### 預金・貸出金残高の推移

預金残高は、前年度末比128億48百万円増加し、7,619億44百万円となりました。貸出金残高は、前年度末比25億50百万円増加し、3,954億34百万円となりました。



### 資産と負債・純資産の状況

(単位:百万円)



### 利益の推移

経常利益は、債券関連売却益の増加や経費の減少等により、前年同期比80百万円増加し12億21百万円となりました。その結果、中間純利益は、前年同期比58百万円増加し8億83百万円となりました。



### 収益と費用の状況

<b>収益</b> 資金運用収益(貸出金利息など) 41億71百万円 + 役員取引等収益 (受入為替手数料など) 1億10百万円 + その他業務収益(債券売却益など) 6億5百万円 + その他経常収益 0百万円	<b>費用</b> 資金調達費用(預金利息など) 1億46百万円 + 役員取引等費用 (支払為替手数料など) 6億38百万円 + その他業務費用(債券売却損など) 92百万円 + 経費(人件費・物件費など) 27億84百万円 + その他経常費用 3百万円
<b>経常収益 48億87百万円</b>	<b>経常費用 36億65百万円</b>
<b>1 経常利益 12億21百万円</b>	<b>→内訳 収益 - 費用</b>
特別利益 -1百万円	特別損失 0百万円
<b>2 税引前中間純利益 12億21百万円</b>	<b>→内訳 ①経常利益 + [特別利益 - 特別損失]</b>
法人税、住民税及び事業税 3億8百万円	法人税等調整額 30百万円
<b>法人税等合計 3億38百万円</b>	
<b>3 中間純利益 8億83百万円</b>	<b>→内訳 ②税引前中間純利益 - 法人税等合計</b>

### 不良債権の状況

不良債権は、何らかの理由により返済されない等の貸出金で、不良債権比率は、貸出金残高に対して不良債権がどれだけあるかを示したものです。長野ろうきんの不良債権比率は、きわめて低水準を維持しています。

### 不良債権比率 0.59%

(単位:百万円)

項目	2022年3月末	2022年9月末
労働金庫法及び金融再生法ベースの不良債権(A)	2,225	2,363
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	602	529
危険債権	1,584	1,742
要管理債権	39	92
三月以上延滞債権	33	87
貸出条件緩和債権	6	5
正常債権	390,940	393,318
総と信残高(B)	393,165	395,681
労働金庫法及び金融再生法ベースの不良債権比率(A)/(B)	0.56%	0.59%

※ 単位未満を四捨五入しています。

### 自己資本比率の状況

自己資本比率は、金融機関の健全性を示すひとつの基準で、法令で定められた指標です。国内業務のみを行う金融機関は4%以上であることが求められています。

### 自己資本比率 10.90%

(単位:百万円)

項目	2022年3月末	2022年9月末 (概算値)
1.自己資本の構成に関する主な開示事項		
コア資本に係る基礎項目の額(A)	51,202	52,082
コア資本に係る調整項目の額(B)	95	101
自己資本の額((A)-(B))(C)	51,107	51,980
リスク・アセット等の額の合計額(D)	464,381	476,499
自己資本比率((C)/(D))	11.00%	10.90%
2.定量的な開示事項		
信用リスクに対する所要自己資本の額	17,991	18,475
オペレーショナル・リスクに対する所要自己資本の額	584	584
総所要自己資本額等	18,575	19,059

※ 当金庫では、中間期決算は法定化されておりませんが、内部規程に基づき、3月末決算に準じた仮決算を行っております。上記2022年9月末の自己資本比率は、この仮決算結果に基づいて算定した概算値です。